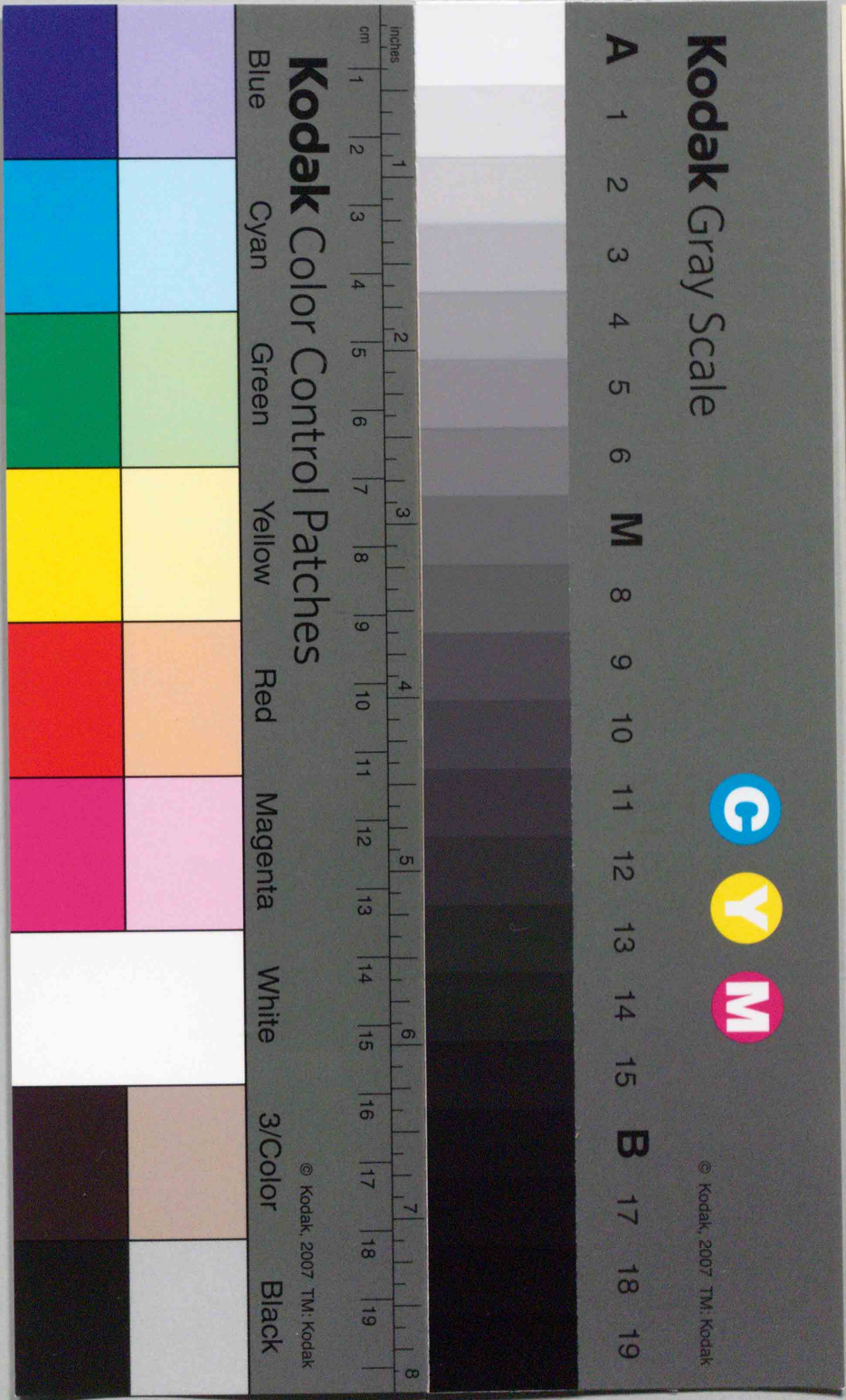


375.9  
Dt19  
資料室

卷三  
東山道  
中山道  
奥羽



30548

教科書文庫

3
290
51-1886
20003 02841





資 料 室  
中 央 圖 書 館

375.9

0719

大 學 圖 書 館  
中 央 圖 書 館

大 學 圖 書 館  
中 央 圖 書 館





廣島大學圖書印



改正日本地誌要略卷之三

東山道

東山道ハ、近江、美濃、飛驒、信濃、上野、下野、磐城、岩代、陸前、陸中、陸奥、羽前、羽後ノ十三國ナリ。近江以下ノ六國ハ、西ヨリ東ニ亘ル百三十里、東海、北陸、兩道ノ間ニ夾ルヲ以テ、中山道ノ稱アリ。故ニ北境ハ、連岳、一帯相列ル、即、全國ノ脊梁ナル大山脈ナリ。而テ南境ニ亘ル連山ハ、信濃ノ東端ヨリ、西ニ連リテ、海山、二道ノ中間ヲ限リ、美濃ノ東南ニ至リテ盡ク、近江ハ畿内及山陰道ニ接シテ、四圍皆山ナリ。中ニ一大湖ヲ湛フ、是ヲ琵琶湖トス。美濃ハ南ニ亘リテ、地勢甚平坦ナ



己上日本地理考 卷之三  
リ、飛驒信濃ハ、山脈ノ間ニ在リテ、全國第一ノ高地ニ居リ、  
上野下野ハ、關東ニ屬シテ、八州ノ平野ニ連レリ、磐城以下  
ハ、陸奥出羽ノ舊地ナレバ、奥羽ト總稱スル者、是ナリ、其地  
折レテ北ニ赴ク百三十里、東西ニ海ヲ受ケテ、其北端ハ、北  
海道ト相對ス、故ニ全道ヲ分チテ、中山道及奥羽ノ兩部ニ  
區別シ、且兩野ヲ關東ニ屬セリ、

近江 十二郡

國ノ中央ニ大ナル湖水アレバ、古ヨリ淡海國ト云フ、其後  
遠江ト相對シテ、今字ヲ用ヰレドモ、尚其稱呼ヲ改メズト  
云フ、○湖水ハ、南北十五里、周回七十四里アリ、其幅ハ、東北  
頗廣クシテ、六七里ニ及ベドモ、西南ニ至リテハ、堅田今濱

ノ間ヨリ、兩岸漸狹クシテ、一二里ニ過ギズ、其形ヲ以テ、琵琶  
湖ト呼ビ、又、鳴海ノ稱アリ、全國第一ノ大湖ナレバ、富士  
山ト並稱シテ、我國ノ雙美トナス、風光ノ美麗ナルヲハ、比  
良暮雪粟津晴嵐等、八景ノ勝アリ、沖嶋ハ、湖水ノ中心ニ在  
リテ、其傍ニ多景嶋アリ、奥嶋ハ、東岸ニ接シテ、其峯ヲ長命  
寺山ト云フ、竹生嶋ハ、北隅ニ峙チテ、岸ヲ距ルヲ、僅ニ半里  
餘、岩石相重リテ、崖下ニ洞門及屏風岩材木岩等ノ奇勝アリ  
湖水ハ、南ニ流レテ、大津粟津ヲ過ギ、逼リテ、勢多川トナ  
ル、湖口ニ太小二橋ヲ架ケテ、勢多橋ト云フ、川流ハ、南ニ下  
リテ、石山ノ麓ヲ過ギ、折レテ西ニ轉ジ、三里ニシテ、山城ニ  
入ル、宇治川是ナリ、國境ハ、巖石河中ニ並ビ峙チテ、鹿飛米



炊等ノ險アリ、

大津ハ一都會ニシテ、人口ニ萬アリ、西京ヲ距ル三里、山城ノ界ヲ逢坂山トス、其山腹ニ隧道ヲ穿チテ、瀛車ノ鐵道ヲ設ク、街市ハ膳所ト相連リテ、湖水ノ西南岸ニ臨ム、常ニ數十ノ小瀛船ヲ湖北ナル長濱ニ通ジテ、越前及美濃尾張ノ運輸ヲ受ク、○長等山ハ西ニ立チテ、山上ニ三井寺アリ、其麓ハ湖面ニ沿ヒテ、唐崎堅田ノ諸濱相並ビ、比叡ノ山腹ニ日吉神社、延曆寺等アリ、抑此國ハ畿内ニ接近セルガ故ニ、景行成務ノ兩帝ハ、帝都ヲ志賀ニ置キ給ヒ、天智弘文ノ二世ハ、大津宮ヲ皇居トセラレヌ、其後孝謙帝ノ時、又紫香樂宮ヲ造ラレシ事アリ、九

畿外ニテ、定リタル都趾ヲ存スル者、惟此國アルノミ、國ノ四境ハ、連山繞リ圍ミ、内地ハ、湖水ヲ以テ、東近江西近江北近江ノ稱ヲ建ツ、湖西ハ、地稍狭クシテ、比良峯朽木谷等、比叡山ノ北ニ連リテ、山城及丹波若狹ノ界ヲ限リ、湖水ノ岸ニ、大溝、今津ノ諸邑アリ、湖東ハ、地頗廣シ、南隅ハ、甲賀信樂ノ群山アレドモ、中央ハ、湖濱ニ亘リテ、蒲生野沖野等ノ平原相連レリ、南ニ三上山、鏡山アリ、北ニ佐和山、磨針峠アリ、三上山ハ、平坦ノ際ニ直立シテ、近江富士ト稱セリ、北ニ白野八幡等ノ諸邑アリ、草津驛ハ、大津ト相距ル三里半、又矢橋ヨリ直ニ湖上ノ舟路ヲ通ゼリ、此驛ハ、東北三街道ノ要路ニシテ、水口土山ヲ歷テ、鈴鹿峠ニ至ル者ヲ、東海道



トシ、高宮鳥居本ヨリ、磨針峠ヲ經ル者ヲ、中山道トス、北國  
街道ハ、鳥居本ヨリ北ニ分レテ、米原長濱ヲ經ル者トス、○  
安土山ハ、湖岸ニ峙チテ、奥嶋ト相對セリ、織田信長ノ居城  
ヲ築キテ、天主閣等ノ建置アリシ處ナリ、其東ニ連ル觀音  
寺山モ、亦守護佐々木氏ガ十二世ノ舊城趾タリ、彦根ハ二  
萬四千ノ人口アリテ、佐和山ニ傍ヒ、湖水ニ臨ム、其北ノ入  
江ヲ米原トス、其東北ハ、北近江ト稱スル處ニシテ、湖岸ニ  
長濱朝妻ノ諸邑アリ、小谷山ヲ淺井氏ノ城墟トス、北國道  
ハ、長濱ヨリ越前ノ界ナル椽木峠ニ至ル十二里、木本柳瀨  
兩驛以北ハ、村里皆兩山ノ峽間ニアレバ、山内ト呼ブ、○長  
濱ハ、羽柴秀吉ガ始テ封土ヲ受ケシ時ノ舊城地ナレバ、爾

後尚ニ都會ノ處ナリシガ、近來、汽車發停館ヲ設ケ、北ハ越  
前ノ敦賀港ニ、鑛道ヲ敷ク十里、柳瀨隧道ハ、洞中ノ長五百  
間ニ近シト云フ、又、美濃ノ鐵道モ、大垣へ十里ヲ通ズ、兩道  
ノ運輸其發着共ニ此地ニ係レリ、○海津鹽津ハ、相並ビテ  
湖水ノ北隅ニ臨メリ、  
膽吹山ハ、美濃ニ跨ル大山ニシテ、彌高山寺岳等、相並ビテ、  
高ク東境群岳ノ上ニ出ヅ、此山ハ、即大山脈ヨリ、南ニ分ル  
、支脈ニシテ、靈山其脈ヲ受ケテ、本中北ノ三峯、相聳エ、三  
國御池、釋迦、水晶、綿向、高畑等ノ連山、其南ニ並列シテ、伊勢  
ノ藤原鈴鹿及鎌岳等ト、腹背ヲナス、正南ハ、伊賀ヲ包ミテ、  
甲賀山、信樂谷相重リ、國境ニ油日山、土岐峠アリ、○金糞土



藏及横山等ハ、膽吹山ノ後陰ニ列リ、三瀬山ハ、美濃越前ノ界ニシテ其西脈ヲ椽木峠トス、川流ハ、四境ノ山谷ヨリ出デ、悉湖水ニ入ル、俗ニ八百八水アリト云フ、然レ平時ハ、水ナキ者多シ、且川路ハ、大率長堤ノ上ニ直リテ、其高ハ、殆人家ノ屋梁ト均シキ者アレバ、屋棟川ノ稱アルニ至ル、信樂川ハ、源ヲ土岐峠ニ發シ、信樂谷ノ衆水ヲ集メテ、甲賀川ト會シ、西ニ轉ジテ、大戸龍トナル、沿岸ノ地ハ、信樂郷ニシテ、孝謙帝ノ宮趾アリ、且其地味茶ニ適ヒテ、山城ノ宇治ト並ビ稱セラル、下流ハ、田上山ノ麓ヲ環リテ、黒津ヨリ、勢多川ニ入ル、故ニ又田上川ト云フ、松尾川、田村川ハ、共ニ高畑山ヨリ出デ、甲賀山中ノ溪流ト

相合ヒテ、西ニ流レ、土山水口ヲ過ギテ、横田川ト云フ、又油日山ヨリ來ル野田川ト會シテ、三上山ノ麓ヲ流レ、郡名ヲ呼ビテ、野洲川ト云フ、末ハ分レテ、二川トナリ、支流ヲ吉川ト云ヒ、水流ハ、直ニ今濱ニ注グ、其流十五里、愛知川ハ、水晶山ニ出デ、源流ニ萱尾龍アリ、犬上川ハ、三國岳ニ發シテ、又高宮川ト云フ、各西ニ流レテ、安土彦根ノ間ニ注グ、其他ハ、仁保川、善利川等、皆湖東ノ諸川タリ、湖西ハ、安曇川頗大ナリ、東流十里、而テ湖北ニ姉川アリ、織田徳川兩氏ノ、淺井朝倉ノ兵ヲ破リシ有名ノ古戰場タリ、國友川ハ、膽吹山ノ北陰ヨリ出デ、西ニ折レ、草野川ヲ合セテ、其流九里、高時川ハ、椽木峠ニ發シテ、南流十里、兩川相合ヒテ、姉川ト云フ、



又彌高山ノ南腹ニ出ヅル大富川ハ朝妻ニ至リテ湖ニ注  
グ天川ト云フ其北隅ニ余吾川アリ其源ヲ余吾湖ト云フ  
周圍一里半賤岳其南ニ峙チテ琵琶湖ト經界ヲ限リ湖北  
ハ柳瀨ニ接セリ亦羽柴柴田兩氏ノ古戰場ニシテ賤岳ノ  
七槍最著名ナリト云フ

美濃 二十一郡

東北西ノ三面ハ連山相圍ミ北境ハ大山脈並列シテ毘沙  
門岳岩岳明神山屏風山等東北ヨリ連リ來リ權現雷冥ノ  
諸山又其西ニ列リテ山際ニ根尾谷徳山谷アリ膽吹山ハ  
西境ニ峙チ其脈南ニ走リテ三國岳ニ接ス○内地ハ中央  
ヨリ南ニ亘リテ不破野各務野大野ノ三野アルハ國名ノ

由リテ起ル所ナリ土地膏沃ニシテ多ク良米ヲ産シ河道  
四通ニシテ運輸甚便ナリ然レ往々水害ヲ免レズト云フ  
其平坦直ニ尾張ニ連リテ伊勢海ノ涯ニ達セリ木曾川ヲ  
以テ其國境ヲ分ツ

木曾川ハ源ヲ信濃ノ木曾山中ニ發シ東ヨリ來リテ西南  
ニ流ル、一三十五里其上流ハ落合ヨリ川合ニ至ル十餘  
里兩岸相逼リテ水流急激ナレバ小舟モ亦通ズルヲ能ハ  
ズ飛驒川モ亦急流四十里馬瀨川ヲ金山ニ合セテ南ニ下  
リ川合ニテ相會ス兩川相合ヒテ水勢彌大ナリ一里ニシ  
テ太田ニ至ル山圍始テ解ケテ且中山道ノ渡場ニ當レバ  
始テ行舟ノ利アリ下流ハ國境ニ沿ヒテ西ニ赴キ各務野



ノ南ヲ限リテ、笠松ニ至ル、河岸ナル要津ニシテ、運漕ノ便、  
漸多シト云フ、墨股川ト合ヒテ、遂ニ南ニ環レリ、木曾川ハ、  
源ヨリ海口ニ至ル六十里ノ長流ナレドモ、河運ノ利ハ、其  
半ニ及バズ、且、河流ノ變遷ニ由リテ、羽粟中嶋海西ノ三郡  
ハ、尾張ノ地ナルモ、天正中割キテ、此國ニ屬セシム、故ニ兩  
國同名ノ郡アリ、

加茂可兒、土岐、惠那ノ四郡ハ、國ノ東南隅ニシテ、三河飛驒  
ノ間ニ夾リ、東ハ惠那岳高ク聳エ、十曲峠、其北ニ並ビテ、共  
ニ信濃ニ界ス、嶺上ヲ木曾ノ分界トナス、村里、大率、山谷ノ  
間ニ在リテ、其官道ハ、木曾川ノ南岸ニ沿ヒ、琵琶峠等ノ山  
路アリ、中津川、大井川、皆北流シテ注ギ入ル、惟土岐川ノミ

西南ニ流レテ、尾張ニ入ル、即庄内川ノ上流ナリ、  
郡上郡ハ、諸郡ノ上ニ居テ、東ハ飛驒ニ接シ、北ハ越前ニ界  
ス、大日岳、其中間ニ峙チテ、西麓ノ阿彌陀龍ハ、飛流六十丈、  
頗奇觀、夕川、其傍ニ村、摩池アリ、東隅ニ水字禮池アリ、衆流  
相集リテ、藍見川トナル、又郡上川ト云フ、南ニ下ル數里ニ  
シテ、既ニ舟楫ノ利アリ、毘沙門岳ヨリ來ル牧川ト合ヒテ、  
西ニ赴ク、其兩岸ハ、景勝ノ地多シ、津保川ヲ合セテ、岐阜ニ  
至リ、始テ長良川ト稱ス、下流ハ、沿岸皆平坦ニシテ、又糸貫  
川ヲ合渡ニ合セ、南ニ轉シテ、墨股川ト云フ、其流三十二里、  
支流ヲ西ニ分チテ、楫斐川ニ通ズル者ヲ、大樽川ト云フ、  
杭瀬川ハ、徳山谷ニ發シ、藪川ハ、根尾谷ニ出テ、各山峽ヲ出



巴正野水地誌要略 卷之三 七  
テ、大野ヲ抱キ、相會シテ、楫斐川ト云フ、南ニ流ル、三十  
里、大垣ノ東ニ至リテ、舟運ノ往來、始テ伊勢ノ桑名ニ通ズ  
ベシ、粟笠ニ至リテ、牧田川ヲ合セ、今尾高須ヲ過ギテ、伊勢  
尾張ノ間ニ入ル、

岐阜ハ、稻葉山ニ據リ、長良川ニ臨ミ、東南ハ各務野ヲ帶フ、  
中央ノ一都會ニシテ、人口一萬アリ、加納ハ、中山道ノ驛路  
ニシテ、其南ニ接セリ、又其南ニ里餘ニシテ、笠松ニ達スル  
ヲ、尾張ノ通路トナス、名古屋ト相距ル九里、又東ハ津保川  
ニ沿ヒテ、關金山ヲ歷ル者ヲ、飛驒ノ正路トナス、天文中齋  
藤道三始テ居城ヲ築キテ、岐阜ト名ケシガ、織田信長コレ  
ヲ陷レテ、更ニ城郭ヲ稻葉山ニ置キシト云フ、常ニ金花山

ト呼ビテ、尚城趾ヲ存セリ、○大垣モ、亦人口一萬アリテ、越  
前近江ヨリ、東海道ニ出ヅルノ通路ニ當リ、湊車鑛道ノ便  
アリ、慶長中石田三成ノ兵ヲ擧ゲテ、徳川氏ニ抗セシヤ、東  
軍ヲ此城ニ要セントシテ、遂ニ關原ニ迎ヘ戦ヒ、西軍大ニ  
敗レヌ、關原ハ、即不破野ニシテ、又青野原ト云フ、西ハ膽吹  
山ノ麓ニ亘リ、東北ハ、池田山、金生山等、相圍メリ、美濃中山  
ハ、其正南ヲ限ル、長岡ニシテ、又南宮山ト呼ブ、原ノ西隅ハ、  
天武帝ノ時ニ不破關ヲ置レシ舊墟ナレバ、關原ノ稱アリ、  
藤川ハ、膽吹山ヨリ出テ、原中ヲ流レ、常ニ藤子川ト云フ、  
下流ハ、即牧田川ナリ、  
元正帝多度山ニ行幸シテ、醴泉ヲ賞覽セラレ、名ヲ養老ト



賜ヒ、遂ニ養老ヲ以テ年號トナス、瀑布ノ高七丈餘、其山中頗幽清ノ地タリ、此山ハ、近江ニ接シテ、靈山ノ東面ニ當リ、南ニ亘リテ、多藝山トナル、

飛驒 三郡

四境共ニ大岳峻嶺相圍ミテ國中モ、亦山深ク谷幽ナリ、大山脈ノ中間ニ夾ル小國ニシテ、氣候特ニ寒ク、五月花開キ、七月麥熟ス、東南ニ面ハ、信濃ニ包レ、其往來スル坂路ハ皆險峻ニシテ、三冬ハ積雪路ヲ埋メテ、人馬ヲ通ズルヲ能ハズ、西ハ美濃ニ接シ、其通路ハ、河岸ニ沿ヒテ、漸險難ナラズト云フ、而テ水流ハ、北ニ流レテ、越中ニ入ル者多シ、故ニ其地勢ハ、東山ニ背キテ北陸ニ向フト云フベシ、且郡邑皆峽

際ノ河岸ニ沿フ者ナレバ、灘郷古川郷、白川郷、荒城郷、高原郷、菽原郷等、大率川名ニ因リテ、區別ヲ設クト云フ、

高山ハ、中央ノ一都會ニシテ、地形稍平坦ナレバ、高山平ノ稱アリ、是ヲ灘郷トナス、宮川ニ大橋ヲ架ケテ、街市ヲ其東西ニ列ネ、人口ハ一萬三千アリテ、岐阜ト相距ル三十四里、位山其南ニ峙チ、山中ハ、水松樹ノ良材ヲ出ス、其昔例ニ御笏ノ用ニ供セシカバ、一位木ト呼ビ、從セテ亦此山名アリ、川上岳又其上ニ聳エテ、西ハ龍峯ニ連リ、東南ハ舟山宮峠等、相連リテ、東ニ亘リ、地勢ヲ南北ニ限リテ、乘鞍岳ノ麓ニ達ス、數條ノ川流ハ、皆此經界ヲ以テ、其流路ヲ異ニセリ、乘鞍岳ハ、正東ニ聳ユル大岳ニシテ、國中第一ノ高山ナリ、



信濃ニ跨リテ、山頂ニ周回三里ノ大池アリ、是ヲ益田川ノ源トナス、槍岳笠岳抜戸岳及中俣北俣ノ諸高山ハ、越中ノ立山ヨリ、連リ來リテ、南ニ走リ、國境ニ並列シテ、乘鞍岳ニ接ス、大率皆噴火山ニシテ、山頂硫焰ヲ出セリ、正南ハ、美濃信濃ノ際ニ、木曾御岳アリ、西境ハ、楢尾峠鷲岳等相並ビテ、美濃ノ郡上下、境界ヲ分チ、大日岳殊ニ高峻ナリ、其北ハ、加賀ノ白山、更ニ高クシテ、群山最重深ナリ、正北ノ國境ハ、白木峯金剛岳相並ビテ、越中ニ跨リ、宮川白川ノ兩川、其左右ノ峡谷ヲ貫キテ、北ニ流ル、宮川ヲ神通川トシ、白川ヲ射水川トス、

宮川ハ、源ヲ川上岳ニ發シ、位山宮峠ノ麓ヲ環リテ、高山ヲ

過ギ、川上川西ヨリ來リ、八賀川東ヨリ入り、相會シテ、漸大河ヲナシ、古川ニ至リテ、荒城川ヲ合セ、角川ニテ、小鳥川ヲ合ス、其流屈曲シテ、北ニ下ル、二十二里、一谷ニ至リテ、高原川ニ合フ、即國ノ北境ニシテ、河岸ニ沿ヒテ、越中ノ通路アリ、高原川ハ、乘鞍岳ノ北陰ナル平湯大瀧ヨリ出デ、北流二十里、舟津漆山ヲ過ギテ、一谷ニ至ル、雙六川跡津川ハ、皆東境ノ連岳ニ發源シテ、高原川ニ注ギ入ル、白川ハ、西隅ノ溪谷相集リテ、一川トナリ、其正源ヲ、白山ノ白水瀧トナス、直下二百丈ノ大瀑布タリ、其沿岸ノ村里ハ、即白水郷ニシテ、地勢風俗、自別境ノ如シ、三方崩仙人窟及笈搦岳劍岳等ハ、白山ノ屬峯ニシテ、其左右ハ、道路ヲ通ゼズ、其狀屏障ヲ

改正日本地理要略

卷之三

飛騨



立ツルガ如シ故ニ野谷障子馬狩障子等ノ山名アリ○益田郡ハ國ノ南隅ニ居リ其郡中ノ水流相集リテ一大河トナリ遂ニ南ニ下ル其流三十里呼ブニ郡名ヲ以テス其沿岸ハ萩原郷等ニシテ大洞湯嶋等ノ温泉アリ河岸ノ一路ハ美濃ノ正路ニシテ湯嶋ヨリ同國ノ金山ニ至ル際ヲ中山七里ト云フ馬瀬川ハ川上岳ノ南陰ヨリ來リテ國境ニ相合フ是ヲ飛驒川トナス

建武中姊小路高基南朝ノ命ヲ受ケテ國司ニ任シ杉寄城ニ居テ相傳フルト十餘世ナリシカバ城趾尚古川ノ北ニ存シテ柳御所ノ稱アリ古川ハ高山ニ次グ街市ニシテ其近傍ハ平坦三里ニ亘リ國中第一ノ沃土ト稱ス○此國ノ

川流ハ兩岸相逼リテ河底殊ニ深ケレバ橋航共ニ施ス可ラザル者多シ故ニ藤橋籠渡ノ奇巧ヲ設ケテ通路トナセリ藤橋ハ舟津ノ高原川ニ架ク其製藤蔓ヲ編ミテ兩岸ニ架シ下ニ一柱ヲ用キズ籠渡ハ一谷ニアリ大繩ヲ兩岸ノ巨木ニ繫ギ駕籠ヲ其繩ニ懸ケテ行人ヲ通ゼリ近來道路修繕ノ利ヲ興シ此ニ處ノ如キモ其ニ板橋ニ改造ス然レバ白川ノ大牧等ハ尚籠渡ヲ用キルト云々

信濃 十郡

中山道中ノ大國ニシテ四境ハ十國ニ接シ南北四十里東西二十餘里其廣大ナルト諸國其比少ケレドモ山脈環リ亘リテ内地ノ經界ヲ分チ其間各一國ノ如キ者數處アリ



土俗其地勢ノ平坦ナルヲ以テ平ト呼ブ南ハ上世諏訪國  
 ヲ置レシ舊地ニシテ土人尚國ト稱ス西ヲ松本平ト云ヒ  
 テ平坦十里筑摩安曇ノ兩郡ニ亘ル北ヲ善光寺平ト云ヒ  
 國中ノ沃土ニシテ川中嶋四郡ノ地ナリ東ニ佐久平ノ平  
 野アリ西南ニ木曾谷ノ山郷アリ  
 和田峠ハ登降五里山道中ノ大嶺ニシテ其峻險ナルヲハ  
 箱根碓氷ノ上ニ出ヅト云フ此山ハ國ノ中央ニ峙ツ者ニ  
 シテ山脈ヲ三方ニ分チ列ネタリ東ニ大門峠アリ北ニ武  
 石峠アリ西南ニ鹽尻峠アリ立科山ハ大門峠ノ上ニ立チ  
 テ其東南ハ甲斐ニ跨ルハ岳ニ連リ山脈直ニ金峯山ニ亘  
 レリ○駒岳ハ伊奈木曾兩地ノ經界ヲナシテ北ハ鳥居峠

ニ連リ南ハ風越山ト相並ブ其脈ハ鹽尻峠ヨリ來リテ西  
 南ニ亘リ惠那岳ニ接シテ美濃三河ノ間ニ入ル○冠岳及  
 夫神女神ノ兩山ハ武石峠ノ北ニ並列シテ其山陰ニ保福  
 寺峠室賀峠等ノ坂路アリ其北端ヲ姨捨山トナス山ノ東  
 面ハ千曲川ヲ隔テ鏡臺山ニ對シ西ハ聖山ト相並ビテ  
 其山路ヲ猿馬場峠ト云フ群山其西ニ連リテ犀川ヲ夾ミ  
 北ニ赴キテ越中越後ノ際ニ接ス即北境ノ大山脈ナリ  
 一國ノ水流相分レテ各南北ニ流レ下ル諏訪木曾ハ東海  
 二注ギ其他ハ相集リテ北陸ニ入ル千曲川ハ本嶋第一ノ  
 大川ニシテ一百餘里ノ長流タリ其源ヲ金峯山ニ發シ北  
 二下リテ平野ニ出ヅ即佐久平ナリ折レテ西ニ赴キ小諸



上田ヲ過ギテ、又北ニ轉ジ、姨捨鏡臺兩山ノ際ヲ流レテ、東ニ環リ、松代ヲ過ギテ、犀川ニ河合ニ合フ、二川既ニ大ナリ、故ニ其相會スルニ及ビテ、水勢益盛ナリ、善光寺平ノ間ヲ、北ニ流ル、一十里餘、飯山ヲ過ギテ、漸兩山ノ峽ニ入り、亦數里ニシテ、大瀧ニ至ル、兩岸高ク通リテ、河中ハ巨岩並ビ峙ツ、國境ハ、大山脈ノ峽谷ヲ貫キタレバ、奔流相觸レ、其勢瀑布ノ如シ、此川ハ、國內ヲ流ル、者六十里ナレドモ、舟運ハ、松代飯山ノ間ヲ通ズルノミ、近來更ニ上流ニ游リテ、小舟又上田ニ達セシムト云フ、犀川ハ、上流ヲ奈良井川ト云フ、駒岳ヨリ出テ、松本平ノ中央ヲ流レ、梓川、高瀨川ヲ合セテ、北ニ下リ、兩山ノ際ニ入ル數里、日岐ト云ヒ、峽際ヲ離

ルレバ、東北ニ轉ジテ、川中嶋ニ出テ、遂ニ河合ニ會ス、其流三十里ニシテ、松本ヨリ、常ニ舟運アリ、其日岐ノ峽際ハ、弘化中地大ニ震ヒシ時、兩岸崩レテ、水路塞リシカバ、尚其舟行ヲ得ズト云フ、

養老五年、始テ諏訪國ヲ置ク、諏訪伊奈兩郡ノ地、是ナリ、其後十年ヲ歷テ、又其舊ニ復セシト云フ、其地ハ、北ニ和田峠アリ、東ニ八岳アリ、西ハ鹽尻峠ノ山脈、相連ル、中間ノ湖水ハ、周回五里、郡名ヲ呼ビテ、諏訪湖ト云フ、嚴寒ノ時ハ、湖水結ビテ、人馬共ニ冰上ヲ往來スベシ、湖濱ニ、諏訪上下社、又温泉場アリ、高嶋ハ、湖水ニ臨メル一邑ナリ、湖水ヨリ東方ハ、漸平坦ニシテ、合戸原ト云ヒ、原中ノ金澤驛ヲ、甲斐ノ通



路トス、其東南ニ並列スル連山ハ、甲斐ノ地藏岳、駒岳、白峯  
 等ニシテ、駿河遠江ノ際ニ入り、其南隅ヲ惠儀岳トナス、其  
 ニ道路ノ通ゼザル處ナリ、三峯川ハ、地藏岳ヨリ出テ、高  
 遠ヲ過ギ、西流十里ニシテ、天龍川ニ合フ。○天龍川ハ、諏訪  
 湖ヨリ出テ、奔流急激ニシテ、南ニ流ル、三十里、大田切川  
 大横川等ヲ合セテ、遠江ニ入ル、川ノ左右ハ、伊奈郡ニシテ、  
 飯田ヨリ、下流始テ通舟ノ利アリ、又西岸ニ沿フ一路ヲ、伊  
 奈街道ト云ヒ、美濃ノ別路ニシテ、上世ノ官道タリ、又其西  
 南隅ノ山路ヲ、三河ニ通ジテ、中馬街道ト云フ、郡中峽際ニ  
 アレドモ、地勢南出スルヲ以テ、季候甚温暖ナリト云フ、  
 木曾ハ、御岳高ク聳エテ、飛驒美濃ニ跨リ、其秀峻ナルヲ、殆

富士山ニ次ギテ、四時共ニ冰雪アリ、駒岳其南ニ峙チテ、亦  
 其高峻ヲ争フ、兩岳ノ峽際ヲ、木曾山中、又木曾谷ト稱シ、東  
 ノ鳥居峠ヨリ、西ハ十曲峠ニ至ル、二十一里、村里皆山ニ倚  
 リ、谷ニ臨ミ、氣候寒烈ニシテ、田畝甚少ク、米穀大率他方ヨ  
 リ輸入スト云フ、道路ハ、山腹又崖端ニ亘レバ、斷岸ノ處ハ、  
 皆棧道ノ設アリ、近來修路ノ舉アリト雖、凡、險路峻坂尚多  
 シ、木曾川ハ、鳥居峠ノ北ナル萩曾ヨリ出テ、宮越、福嶋ヲ  
 過ギ、御岳ヨリ來ル王籠川ト合ヒテ、水勢頗大ナリ、河中ハ、  
 巨巖危石相觸レ、急激怒號シテ、或ハ奔瀧トナリ、或ハ深淵  
 トナル、其間ニ寐覺床ト稱スル處アリ、巨岩流ヲ束ネテ、水  
 色藍ノ如シ、實ニ山中ノ一勝地タリ、壽永中、木曾義仲、兵ヲ



起シテ、京師ニ入り、後遂ニ敗滅ニ就キシガ、其裔孫再木曾氏ヲ稱スル者數世、天正中ニ至リ、義康、義昌等、福嶋ヲ居城トナセシカバ、今尚山中ノ一邑タリ、抑此山中ノ地ハ、元美濃ニ屬セシ深谷ナリシガ、和銅六年、始テ山路ヲ開キテ、兩國ノ通路トナシ、元慶三年ニ至リ、其國府ト遠隔セルヲ以テ、割キテ此國ニ屬スト云フ、然氏土人尚別境ヲ以テ自居レリ、

松本平ハ、桔梗原、其南ニ連リテ、鹽尻峠ヲ、諏訪ノ境トシ、鳥居峠ヲ、木曾ノ界トス、北ハ仇坂、立峠等、相重リテ、猿馬場峠ニ連レリ、松本ハ、其中間ノ大邑ナレバ、此稱アリ、人口一萬四千ニシテ、又深志町ト呼ブ、東ニ冠岳ヲ負ヒ、西ニ犀川ヲ

帶ビ、小笠原氏世々此國ノ守護ニ任ジテ、居城トナセシガ、天文中ニ至リテ、武田信玄ニ滅サレヌ、此平野ハ、東西ハ四五里ナレドモ、南北ハ、犀川ノ西ニ亘リ、十餘里ニシテ、池田大町ノ二邑ニ及ブ、田野開ケテ、村里相連レドモ、飛驒ノ乘鞍岳、正西ニ聳エ、穗高神明有明ノ諸岳、相並ビテ、常ニ風雪ヲ吹き送レバ、寒氣ノ烈シキヲ、飛驒木曾ニ滅ゼスト云フ、乘鞍岳ノ山腹ニ、白骨ノ温泉アリ、即梓川ノ源泉ニシテ、大町ノ奥ナル青木湖ハ、下流ヲ高瀬川トス、而テ其北ハ、山中ノ別郷ニシテ、溪水相集リテ、北ニ流ル、者ヲ越後ノ姫川トナス、

善光寺ハ、有名ナル佛閣ナレバ、此地ノ總稱タリ、寺下ノ街



市ヲ長野ト云ヒテ、人口一萬アリ、此平ハ、水内更科、植科、高井ノ四郡ニ亘ル者ニシテ、四方共ニ七八里ニ及ベリ、千曲川、犀川、平野ノ中央ニ相合ヒテ、河道三义ヲナセバ、川中嶋ト云フ、此四郡ノ地ハ、上野、越後ノ中間ニ夾リテ、北國街道ハ、長野ヨリ野尻關川ヲ歷テ、越後ノ高田ニ至ル十五里、松代ハ、平野ノ東南隅ニシテ、其後山ヲ葛尾城趾トナス、村上氏數世相傳ヘテ、此城ニ居リシガ、武田氏ノ兵ニ支フルヲ能ハザレバ、越後ニ逃レテ、上杉氏ニ依ル、遂ニ甲越兩國ノ戰端トナリテ、互ニ此四郡ノ地ヲ爭フ、十餘年、最著名ナル古戰場タリ、葛尾山ハ、鏡臺山ト相並ビテ、其東ヲ地藏峠トナス、山脈相連リテ、東北ニ亘リ、四阿、白峯、岩菅、鳥甲ノ諸

山並列シテ、上野ノ境ヲ限リ、山間ニ米子、喊滿ノ瀑布アリ、又山田角間ノ温泉アリ、澀湯尤顯ル、鳥甲山ノ麓ハ、中津川ニ沿ヒテ、別郷アリ、越後ニ亘リテ、秋山ト云フ、中津川ハ、清津川ト、其ニ上野ニ發源シ、亦越後ニ入リテ、千曲川ニ合フ者トス、○戸隱山ハ、正北ノ高山ニシテ、飯綱、黑姫ノ兩山、其東ニ峙テ、高妻乙妻ノ諸山、其西ニ秀テ、群山相重リテ、北陰ハ、越後ノ妙高山、燒山ニ接セリ、黑姫山ノ麓ニ、野尻沼アリ、周回四里、其水北ニ流れ出テ、越後ノ關川ニ合フ、○姨捨山ハ、冠著山、聖山ト相並ビテ、平野ノ正面ニ當レリ、此山ハ看月ノ名所ニシテ、更科田毎ノ月ト呼ブ者、是ナリ、淺間岳ハ、有名ノ噴火山ニシテ、其名最著シク、古ヨリ富士



山ト並稱セリ其峯ハ上野ノ境ニ峙チテ山頂常ニ硫焰ヲ  
出セバ往々山火ヲ吐キ灰石ヲ散ス等ノ災害アリ故ニ山  
麓數里ノ地ハ悉燒土ニシテ田畝ナク樹木ナシ呼ビテ淺  
間燒野ト云フ其麓ニ輕井澤沓掛追分ノ三驛アリ追分ヲ  
中山北國兩街道ノ岐路トナス廣原其南ニ連リテ四五里  
ニ亘ル者ヲ佐久平トナス其南ハ金峯八岳相並ブ又追分  
ヨリ千曲川ニ沿ヒテ西ハ上田ニ至ル七里其間モ亦自平  
坦ナリ更ニ河岸九里ニシテ松代ニ達スベシ上田ハ一都  
會ニシテ東國北國ノ產物相集リテ商業殊ニ盛ナリ東ハ  
碓氷嶺下ノ輕井澤ヨリ北ハ松代丹波嶋ヲ歷テ長野ニ至  
ル路程二十里近來車馬通行ノ便ヲ開キシト云フ○淺間

岳ヨリ西ニ亘ル連山ハ烏帽子岳其中央ニ聳エテ西端ハ  
即地藏峠鏡臺山ナリ又淺間岳ノ山脈東ニ分レテ南ニ亘  
ル者ハ碓氷荒船ノ諸山トナリテ上野ト界ヲ分チ關東ノ  
西境ヲ限リテ武藏ノ秩父山ニ接ス武甲上信ノ界ハ群山  
重疊スルヲ十里其直行シテ正南ニ亘ル者ハ富士山ニ接  
シ折レテ西ニ赴ク者ハ甲斐ヲ包ミテ駿遠三ノ北境ヲ限  
ル即海山兩道ノ中間ニ亘ル山脈ナリ  
產物

近江晒美濃紙ハ國名ヲ定稱トナセバ其品ノ精良ニシテ  
其業ノ盛大ナルヲ知ルベキナリ晒布ハ野洲河原ニテ製  
造セル麻布ニシテ紙ハ其品三十三種アレドモ其中ニ就



キテ、專直紙ノ定名トナル、牧川、敷川等ノ上流ニ於テ、山谷ノ民、皆其産業トナス、琵琶湖ノ産ハ、源五郎鮒ヲ第一トナシ、勢多川ノ鯉、野洲川ノ鮠モ、亦世ノ賞味スル所タリ、信樂及土山、政所ハ、多ク茶ヲ製シテ、諸方ニ輸送ス、其他ハ、高宮生乎、奥嶋、墨表、高嶋、硯、膽、吹、艾、水口、筥、大津、算盤等、共ニ世用ノ品物タリ、信樂、燒ハ、陶器中ノ佳品ニシテ、大津、繪モ、亦畫圖ノ古雅ヲ存スル者ナリ、長濱ノ縮緬ハ、最精美ニシテ、世ニ濱、縮緬ト稱シ、羽二重、天鷲、絨、龍、紋等ノ織物モ、亦此地ノ良産タリ、美濃ハ、米、紙ノ外ニ、岐阜、絹、曾代、縮緬等ノ産アリ、金生山ノ更紗、蠟石ハ、大小、方圓、各種ノ器品ヲ製シ、木曾川上流ノ盆石ハ、盆栽、庭園等ノ雅致ヲ添フベシ、關ハ古ヨリ

已上時水地誌要略 卷之三 七

劍工ノ住スル處ニシテ、今尚刀劍等ノ刃物ヲ鍛冶セリ、土岐、燒ハ、青花ノ磁器ニシテ、養老酒ハ、精釀ノ藥酒タリ、長良大根ハ、美濃干ノ名、最高クシテ、蜂屋、枿、真、桑、瓜モ、亦地名ヲ其品ノ通稱トナスニ至ル、岐阜ハ、提燈及鮎鮎ヲ名産トナス、長良川ノ鮎ハ、其長一尺ニ近ク、土人皆鸕鷀ヲ使ヒテ、漁捕スル者ナレバ、鸕鷀ノ名アリ、下流ハ、墨、股、川ノ鯉、木曾川ノ鱒、共ニ河魚中ノ美味タリ、飛驒ハ、金、銀、銅、鉛ノ礦物アリ、材木、獸皮及硫黃、硝石ノ産物アリ、高山ノ一位細工ハ、水松樹ノ製品ニシテ、又批目、細工、春慶、塗等ノ器物アリ、養蠶ハ、白川郷最盛ナリ、而テ蠶卵紙ハ、信濃ノ良産ニシテ、製造ノ多キヲ、全國ニ冠タリ、故ニ生絲、真綿モ、亦從ヒテ多ク出ヅ、

文正日本地誌要略 卷之三 物産



且信州紬上田縞等ノ絹布アリ、麻布ハ諏訪平ヲ推シ、綿布ハ松本ニ木綿絞アリ、高遠ニ綿紹アリ、食物ハ更科ノ蕎麥、其名甚高く、其他ハ仁科ノ冰餅、松本ノ干温飽等ニシテ、材木ハ木曾山ノ檜木ヲ本木ト呼ビテ、他國其比ナシト云フ、熊猪鹿羚羊等ノ皮角毛亦同山中ノ產物タリ、蠟石硝石温石磁石砥石硯石及乾栗串材干瓢岩茸等ハ皆山國ノ產タルヲ證トスベキモ、各湖諸川ノ鯉鮒鮎鱒ハ又海ナキ國ノ生鮮ト云フベシ、

奥羽

明治元年十二月ノ勅ニ、奥羽兩國ハ曠漠僻遠ノ地ニシテ、古ヨリ教化洽ク敷キ及シ難シ、今陸奥ヲ磐城岩代陸前陸中陸奥ノ五國ニ、出羽ヲ羽前羽後ノ二國ニ分國シテ、厚ク風俗移易、人民撫育ノ道ヲ盡サント曰ヒキ、  
奥羽七國ハ東西ニ海ヲ受ケテ、北端ハ蝦夷嶋ト松前海峽ヲ夾ム、中央ハ大山脈相列リテ、正北ヨリ正南ニ亘リ、三陸兩羽ノ經界ヲ限リテ、其形ハ馬鬣ノ如シ、磐城岩代ノ際ニ至リテ兩脈トナル、其西ニ遠ル者ハ越後ノ境ニ傍ヒテ、西南ニ赴キ、又中央ノ山脈ニ連リテ、關東ノ北境ヨリ西ニ赴ク、即全國ノ脊骨ヲ起セル高山大岳ニシテ、大率噴火山ノ



休廢セシ者ナレバ、山中ニ温泉多シ、磐城陸前陸中ハ、正東ニ太平洋ヲ受ケテ、常陸ノ界ヨリ海岸ニ百里ニ亘リ、羽前羽後ハ、西ニ向ヒテ、越後ト共ニ日本海ニ臨ム、其沿海百里ニ及ブ、陸奥ハ、東西兩地ノ端ニ當リテ、三面皆海ナリ、兩岬並ヒ出デ、内海ヲ抱キ、因テ亦地勢ヲ兩斷ス、岩代ハ、山脈ニ包レテ、上野下野ニ接シ、磐城ト相並ビテ、關東ノ正北ヲ限レリ、○奥羽ノ地ハ、上世ヨリ蝦夷ノ境域ナリシガ、孝徳ノ時、始テ陸奥ノ名稱ヲ建テ、元明帝割キテ石城石背ノ二國ヲ置キシコアリ、和銅中出羽國ヲ建テ、尋テ多賀桃生秋田雄勝ノ諸城ヲ築ク、桓武帝特ニ坂上田村麿ニ征夷ノ任ヲ授ケテ、夷地ヲ討定セシム、是ニ於テ率土濱ニ至ル迄、悉

王化ニ服セバ、膽澤城ヲ置キテ鎮守府トス、延喜中ニ至リテ、陸奥ニ三十六郡アリ、出羽ニ十二郡アリ、然レ土夷ハ是ヲ俘囚ト稱シテ、郡國同一ノ政治ヲ施サズ、故ニ北隅ノ糠部津輕ハ、中世ヲ過グル迄、尚半屬ノ地ニ付セリ、其後安倍賴時其子貞任、其二俘因長ヲ以テ衣川厨川等ノ柵ニ據リテ貢賦ヲ納メズ、國守源賴義時ニ鎮守將軍ヲ兼ネテ、コレヲ滅ス、是ヲ前九年ノ戰ト云フ、其後清原氏同宗相戰ヒテ止マザレバ、賴義ノ子義家コレヲ出羽ニ平グ、後三年ノ役是ナリ、此時州人藤原清衡從ヒテ戰功アレバ、陸奥出羽押領使トナリ、孫秀衡遂ニ國守將軍ノ兩任ヲ帶ビテ、全ク二國ヲ占領ス、文治中源賴朝、自將トシテ其子泰衡ヲ亡シ、葛



西清重ヲ奥羽留守職トシテ、葦名伊達南部相馬武藤ノ諸將ニ土地ヲ分チ與フ、足利尊氏更ニ大寄最上ノ二氏ヲ封ス、秋田津輕ノ兩氏其際ニ興リテ、郡邑ヲ專領ス、其後興亡相繼ゲドモ、大封ヲ占ムル者五六氏、以テ近世ニ至レリ、故ニ各地ノ稱呼ニ仙道四郡、會津四郡、磐城四郡、最上二郡、莊内三郡、秋田三郡等ノ泛稱アリ、又領主ノ姓氏ニ因ル者ハ、葛西七郡、大崎五郡、南部十郡、相馬二郡等是ナリ、而テ仙臺米澤ハ、其居城ノ地名ヲ呼ビテ、直ニ其所領ノ總稱トナセリ、

磐城 十四郡

養老二年、陸奥ノ石城、標葉行方、字多曰理ノ五郡、及常陸ノ

菊多郡ヲ割キテ、石城國ヲ建テラレシガ、後復陸奥ニ并ス、奥羽分國ノ時ハ、其舊域ヲ復シテ、更ニ白河、白川、石川、田村ノ四郡ヲ加ヘ、別ニ東北隅ニ於テ、刈田、伊具ノ二郡ヲ此國ニ屬セシム、

東洋沿岸ノ地ハ、即石城ノ舊國ニシテ、南ハ菊多ノ九面濱ヨリ、北ハ亘理ノ荒濱ニ至ル四十里、中央ヨリ大別シテ、南ヲ岩城ト總稱シ、北ヲ相馬ト呼ベリ、其正西ニ連ル山脈ハ、國ノ中央ニ亘リテ、北ニ赴ク、大向山、佛具山ハ、常陸ノ境ニ重リテ、三株山、神樂山、其北ニ並ビ、矢大臣、大瀧根、及檜山、移岳等、更ニ高クシテ、靈山ハ、岩代ニ跨ル、旗卷山、東光山ハ、亘理伊具ノ郡界ヲ限リテ、逢隈川ノ岸ニ盡ク、其河口ハ、即荒



濱十リ

磐城郡ハ、磐前楢葉ノ三郡ニ分レテ、菊多ト共ニ磐城四郡ト稱ス。磐城平ハ、郡中ノ一邑ニシテ、陸前濱街道ニ當リ、中村亘理ヲ歷テ仙臺ニ至ル四十二里、又岩代ノ通路ハ、三春ヲ過ギテ、福嶋ニ至ル三十三里アリ、邑南ノ湯本驛ニ三箱温泉アリ、湯岳赤井岳ハ、邑ノ西北ニ相並ビテ、後陰ハ中央ノ連山ニ接シ、山際ニ鐵山石炭山アリ、川流ハ西ニ流レテ、逢隈川ニ入ル者ヲ大瀧根川トシ、其他ハ、鮫川、鎌田川、木戸川等、共ニ東流十餘里、○宿崎ハ、中央ノ海濱ニ出デ、其傍ニ小名濱中作ノ兩灣アリ、此國ノ海岸ハ、淺沙暗礁相亘リ、テ四倉濱、原釜港、荒濱モ、共ニ大船ヲ繫グヲ能ハズ、○相馬

ハ郡郷ノ本稱ニアラズ、相馬氏行方字多ノ二郡ヲ領スル、一七百年遂ニ此總稱アルニ至レリ、郡中ハ、田野開ケ、道路整フ、國見、藥師ノ諸山、其西南ニ並ビテ、靈山ニ連リ、宇多川、鹿嶋川モ亦東流十里、○中村ハ、郡中ノ一邑ニシテ、原釜港ト相距ル一里、又邑南五里ニ原町牧場アリテ、野馬數百ヲ飼フ

白河ハ、仙道中ノ一郡ナレバ、岩代ト土地相交ル、蓋白川石川ノ二郡ハ、本郡ヲ分チシ者ニテ、田村郡モ亦安積郡ノ逢隈河東ノ地ナリ、○甲子山ハ、西南隅ニ立チテ、會津ノ界ニ並ビ、山際ニ瀑布温泉アリ、八溝山ハ、正南ニ聳エテ、下野常陸ニ跨ル、山中ノ水ハ、東南ニ環リテ、常陸川ニ入ル、久慈川



ハ上流ナリ。○白河ハ陸羽街道ノ驛路ニシテ南ハ宇都宮ヨリ北ハ福嶋ニ至ル相距ル各二十一里道路大率平坦ナレバ馬車往復ノ便アリ又東ハ白川郡ニ棚倉アリ北ハ田村郡二三春アリ其ニ郡中ノ一邑トス  
刈田伊具ノ二郡ハ岩代陸前ノ間ニ夾リテ西ハ羽前ニ接ス刈田岳ハ白石岳ト呼ビテ大山脈中ノ高嶽ナリ東麓ニ遠刈田鎌崎小原等ノ温泉アリ白石川ハ西境ノ楢下峠ヨリ出テ南麓ヲ東ニ下ル河岸ニ就キテ戸澤滑津湯原等ノ七驛アリ羽前ノ官道ニ當リテ峽間十二里是ヲ山中七宿ト稱ス川流ハ戸澤ヨリ東北ニ環リテ白石ヲ過ギ其流十八里ニシテ逢隈川ニ入ル○白石モ亦街道ノ驛路ニテ

仙臺福嶋ノ中間ニ當レリ  
逢隈川ハ常ニ阿武隈ト呼ブ其源ヲ甲子山中ノ大熊瀧トス東流九里白河ヲ過ギテ石川ニ至リ東ニ轉ジテ龍崎瀧トナル下流十里ニシテ二本松ニ至リ河中又大龍ト呼ブ處アリ高倉摺上及須川松川等ハ西ヨリ入り大龍根川瀨川廣瀨川ハ東ヨリ注ギテ水勢頗大ナリ仙道ノ中央ヲ貫キテ伊具郡ニ入ルヤ河岸相逼リテ其間俄ニ狹シ是ヲ猿跳ト呼ブ丸森ヲ過ギテ角田ニ至レバ兩岸又平ナリ白石川ト合ヒテ東ニ環リ陸前ノ境ニ沿ヒテ荒濱ニ注グ此川ハ奥羽中ノ大河ニシテ長流五十里ナレドモ河運ハ其半ニ及バズト云フ



岩代 九郡

此國モ石背國ヲ建テラレシ時ハ、白河石背安積信夫及會津ノ五郡ナリ、再置ノ境域ハ、尚其舊ヲ存シテ、惟白河ヲ缺ク、蓋會津ハ分レテ耶麻大沼河沼ノ四郡トナル、岩瀬ハ石背ノ轉字ニシテ、安達郡ハ安積ヨリ分レ、伊達郡ハ信夫ノ分郡ナリ、此五郡ニ白河石川ヲ加ヘテ仙道七郡ト稱ス、仙道モ亦山道ノ轉字ニ係レリ、吾妻山ハ、東中西ノ三峯相並ビテ、羽前ニ跨リ、刈田岳ト相對シテ、共ニ大山脈中ノ高山ナリ、山腹ノ温泉ヲ土湯高湯ト云フ、下流ハ、即須川松川ナリ、山脈ハ南ニ亘リテ、安達太郎山最高シ、常ニ二本松嶽ト呼ビテ、山中ニ嶽湯アリ、布引

山ニ岐岳等、又其南ニ列リテ、甲子山旭岳ヨリ那須嶽ニ連ル、即國ノ中央ニ亘ル連山ニシテ、會津仙道ノ經界ナリ、其兩地ノ通路ハ、勢至堂御靈櫃及中山峠等、共ニ數里ノ坂路トス、會津四郡ハ、深山重嶺相並ビテ、四境ヲ圍ム、正北ハ羽前ニ接シテ、檜原峠ハ、吾妻山ヨリ西ニ分ル、山脈ニ係ル、飯豊山高ク、其西隅ニ立チテ、又越後ニ跨ル、御神樂岳鬼面山等、其脈ヲ承ケテ南ニ環リ、六十里越、八十里越等ノ峻坂ヲ兩國ノ際ニ通ズ、但其正路ハ、阿賀川ニ沿ヒテ、津川郷ニ出ツル者トス、南境ハ、燧岳駒岳等、最高クシテ、重山十餘里、直ニ上野下野ノ群山ニ連リテ、藤原越ニ山王峠アリ、○四山ノ



中央ニ數里ノ平野アリ、磐梯山其東北ニ峙チテ、會津富士ト呼ブ、山南ニ猪苗代湖アリ、湖水ハ南北五里東西三里、其周回ハ十六里ニ及ブ、西ニ流レテ日橋川トナル、湖口ニ十六橋アリ、湯川、鶴沼川ヲ合セテ越後ニ入ル、其流二十里、只見川ト合ヒテ、始テ阿賀川ト稱ス、只見川ノ源ヲ上野ノ界ナル尾瀨沼トス、伊南川ヲ合セテ、北ニ流ル、三十七里、鶴沼川ハ、布引山陰ナル鶴沼ヨリ出テ、黒川ハ、東山ノ温泉場ヲ過ギテ湯川ト呼ベリ、酸川ハ、吾妻山ニ發源シテ磐梯山麓ヲ環リ、南流十里ニシテ湖水ニ注グ、○若松ハ、人口ニ萬ニシテ平野ノ東ニ在リ、葦名氏世々ノ居城地ナリシガ、天正中、仙道ノ諸族ト、共ニ伊達氏ニ滅サル、其後上杉蒲生加

藤ノ三氏相繼ギテ、封土ヲ受ケシヲアリ、徳川氏ニ至リテ松平正之ヲ封ズ、其廟ハ猪苗代ニアリテ、土津靈社ト稱セリ、○東西ノ通路ハ、湖水ノ北岸ヨリ、中山峠ヲ經テ福嶋ニ至ル、二十二里、西ハ新潟港ト相距ル三十三里、郡中ハ金銀銅山及温泉瀑布殊ニ多ク、且大鹽鹽澤等ハ、鹽井アリテ盛ニ山鹽ヲ製セリ、

仙道七郡ハ、連山其東西ヲ圍ミテ、逢隈川其中央ヲ流ル、沿岸ノ地ハ、大率平坦ニシテ、村里相望リ、官道ハ白河ヨリ白石ニ至ル三十里、須賀川郡山本宮二本松福嶋等ノ諸邑アリ、福嶋ハ、逢隈川ノ西岸ニ臨ム大邑ニシテ、以下始テ舟運ヲ通ズル、二十里、二本松ハ、人口一萬ナレドモ、其繁盛



ハコレニ若カズト云フ、○伊達信夫ノ二郡ハ、逢隈川ノ兩岸ニ亘レル平野ナリ、河東ハ梁川保原川股ノ諸邑相列リテ瀬川廣瀬川其際ヲ環リ流ル、靈山ハ東境ニ峙チテ河西ナル半田銀山ト相對ス、銀山ノ北ニ小坂峠アリ、羽前ノ官道ニ係リテ山中七宿ニ通ズル者ナリ、摺上川ハ銀山ノ陰ヨリ出デ、尾川ト合フ、河ノ兩岸ニ湯村飯坂ノ温泉場アリ、○中野新道ハ、福嶋ヨリ羽前ノ米澤ニ通ズル道路ナリ、尾川ニ沿ヒテ新ニ山路ヲ開キ、八里ノ間ニ隧道ヲ穿ツ者五門、奥羽ノ分界ナル栗子洞門ハ、其長四百八十間、大ニ車馬往來ノ便ヲ得タリ、又猪苗代湖ノ水ヲ東ニ引キテ、安積安達ノ曠原ニ灌グノ擧アリ、中山峠ノ南腹ニ就キテ長渠

ヲ穿ツ、渠畔ハ車馬ヲ通ズベキ新道ヲ築ク、其水流レテ高倉川ニ注ギ、更ニ長溝數里ヲ導キテ、對面原青田原、北原、向原等、數千町ノ田畝ヲ開ク、郡山ノ西ニ開成館ヲ置キテ、開墾ノ事務ヲ掌ルト云フ、

陸前 十四郡

牡鹿郡ハ、中央ヨリ東南ニ出ヅル、十里、大六天山、其中央ニ高シ、此半嶋ハ遠嶋ト呼ビテ、東洋ノ海岸ヲ兩分スル者ナリ、蓋是ヨリ南ハ磐城及關東諸國ニ亘リテ、更ニ良港ナシ、然レ以北ノ地ハ、岬出デ灣入り、陸中ニ列リテ、數港共ニ大船ヲ繫グベシ、○金華山ハ、岬端ニ屹立スル孤嶋ニシテ、海峽ヲ山鳥渡ト云フ、全嶋ハ巨岩相重リテ、大箱小箱千人



澤水晶巖等ノ奇勝アリ、南端ニ燈臺ヲ設ケテ、大洋航路ヲ示セリ、○折濱荻濱ノ兩灣ハ、遠嶋ノ南岸ニ臨ミテ、共ニ碇泊ノ利アリ、田代網地ノ兩嶋、其前ニ並ブ、○松嶋ハ日本三景ノ一ナリ、灣内五里、東西三里、數百ノ嶋嶼、大小共ニ松樹ヲ戴ク、宮戸嶋ニ大高峯アリ、寒風澤嶋、其南ニ接シテ、桂嶋、朴嶋等ト、共ニ灣ノ前面ヲ圍ム、唐名濱ハ、灣ノ北面ヲ限リテ、其洲端ハ、宮戸嶋ト海門ヲ夾ム、門外ヲ潛浦ト呼ブ、千賀浦ハ、灣内ノ西南隅ニ臨ミテ、鹽釜袖社アレバ、街市モ鹽釜ト呼ブ、仙臺ト相距ル四里、與崎其東北ニ出デ、桂嶋ト相對シ、又正東ニ突出スル者ヲ花淵崎ト云フ、○宮城野ハ、仙臺ノ東ヨリ海濱ニ亘リタル平野ヲ呼ブ者ナレドモ、萩花

鈴蟲ハ、僅ニ數十歩ノ舊蹟ヲ存スルノミ、田畝遠ク開ケテ、南ハ名取廣稻ニ連レリ、廣稻トハ、廣大ナル稻田ヲ呼ブ方言ナリ、○名取川ハ、源ヲ笹谷峠ニ發シテ、東流十二里、大船岳ニ出ヅル廣瀨川ト相合ヒテ、閑上濱ニ注ギ、冠川ハ、泉岳ヨリ來リテ、蒲生濱ニ入ル、其海濱ハ、花淵崎ヨリ、南ハ荒濱ニ至ル、平沙九里、運河ヲ其間ニ貫キテ、逢隈川ノ舟運ヲ松嶋灣ニ通ズル者アリ、貞山堀ト呼ビテ、蒲生以北ハ、既ニ其便用ヲナセリ、

志田遠田ノ二郡ハ、國ノ中央ナル平田ニシテ、其西ハ加美玉造ノ兩郡ニ連ル、大崎氏數世、此諸郡ヲ領セシカバ、大崎廣稻ノ稱アリ、其東北モ亦登米、桃生ニ連リテ、北上川ノ東



西ニ及ベバ、平坦殆二十里、然氏地勢卑濕ニシテ、湖沼頗多シ、品井沼ハ、其大ナル者ニテ、下流ハ鳴瀬川ニ入ル、其他ハ廣淵沼名鱒沼、蕪栗沼伊豆沼等ナリ、又平野ノ西隅ニ藥來山アリ、南方ニハ篋岳アリ、共ニ孤立スル者ニシテ、篋岳ハ聖武帝ノ時、始テ黄金ヲ出シ、處トテ黄金迫ノ名ヲ存ス、○鳴瀬川モ大船山ニ出デ、中新田三本木及松山ヲ過ギ、東南ニ流ル、二十五里、其河口ハ野蒜港ニテ、港外ヲ潛浦トス、江合川ハ、上流ヲ玉造川ト云フ、岩出山古川ヲ歷テ東流三十里、涌谷ヲ貫キテ、篋岳ノ麓ヲ環レル、佐沼川ト、共ニ北上川ニ入ル、三川皆平野ノ間ヲ環リ流レテ、常ニ舟運ノ便アリ、

栗原ハ、西南隅ノ大郡ナリ、栗駒山ノ麓ニ亘リテ、一迫ニ迫三迫ニ分ル、迫トハ、峡谷ノ方言ナリ、然氏郡ノ東南ハ地勢平坦ニシテ、江合川伊豆沼ヲ夾ミテ、志田登米ト村里相交ル、三峽ノ水相集リテ、迫川トナリ、若柳ヲ貫キテ東ニ環ル、其流三十七里、下流ハ即佐沼川ナリ、氣仙本吉ノ二郡ハ、遠嶋以北ノ海岸ニ亘リテ、歌津唐桑綾里等ノ岬角並ビ出デ、其間ニ追波志津川、今泉大船戸ノ諸灣相列ル、氣仙沼ヲ其中ノ良港トス、大嶋其港口ニ横リテ、灣内自碇泊ノ利アリ、○愛染五葉ノ諸山ハ、北隅ニ峙チテ、陸中ニ跨リ、其脈尚國境ニ亘リテ、南ニ赴ク、室根山最高クシテ、田東七賢神行堂翁倉ノ諸山トナリ、本吉登米ノ郡界



ヲ限リテ、横山檉崎ニ盡ク、即北上川ノ分流スル北岸ナリ、北上川ハ、有名ノ大河ナリ、陸中ヨリ來リテ登米ヲ過ギ、南ニ流ル、一十餘里、江合川ト合ヒテ東ニ轉ジ、鹿股ニテ兩川トナル、其尚東流スル者ハ追波川ト呼ビ、南ニ環ル者ハ蛇田ヲ過ギテ、石卷港ニ入ル、○牧山ハ、北上川ノ東岸ニ峙チテ日和山下相對ス、山中頗、石材ニ富ム、日和山ハ葛西氏ノ舊城趾ニシテ、直ニ其河口ノ西岸ニ臨ム、○渡波入江ハ、河口ノ東一里ニアリ、海灣深ク入りテ、食鹽ノ製造場ヲ設ク、灣以東ヲ遠嶋トス、

駒岳ハ、陸中羽後ニ跨ル高山ニシテ、郡名ヲ冠シテ、常ニ粟駒山ト呼ブ、其南ニ亘ル連山ハ、其ニ中央ノ大山脈ニ列リ

テ、禿岳、翁岳、大船山、東岳、龍駒岳等、相並ブ、熊野岳ハ高ク、其南隅ニ峙チテ、刈田岳ト雙立ス、岳北ヲ笹谷峠トス、奥羽兩國ノ通路ニシテ、尚連山ノ際ニハ、二口越、作並越、輕井澤中山等ノ險坂アリ、作並ハ洞門ヲ穿チテ、仙臺ヨリ羽前ノ山形ニ至ル十八里、新ニ車馬ノ通路ヲ開ケリ、○磐神山ハ、龍駒岳ノ東南ニ聳エテ、陰陽兩峯アリ、磐山、烏兔、森其東北ニ並ビテ、仙臺ノ西ニ立ツ、泉岳ハ根白石岳ト呼ビ、又其北ニ峙チテ、頗、大ナリ、寶森、蛇岳等、ハ共ニ大船山ニ接ス、七森ハ七峯並ビ立チテ、泉岳ノ北ニ聳ユ、瀧倉、大倉、二森、花淵ノ諸山ハ、別ニ西北隅ニ相並ビテ、栗駒山ノ麓ニ亘レリ、○群山ノ陰ニハ、温泉、頗多シ、中央ヲ秋保、作並トシテ、北隅ニ鳴子



湯川度湯及湯倉等アリ、青根ノ温泉場ハ、熊野岳ノ麓ニア  
 リテ、眺望極テ佳ナリ、  
 仙臺區ハ、奥羽中ノ大都會ニシテ、人口五萬五千アリ、街市  
 ハ大町國分町等、相連ル一里、本城ハ正西ニ在リテ、鎮臺本  
 營ヲ置ク、青葉山ヲ負ビ、廣瀨川ヲ帶ブ、慶長七年、伊達氏ガ  
 新ニ築造セシ城郭ナリ、區ノ東隅ナル躑躅岡ハ、櫻花數百  
 樹アリ、且宮城野ニ臨ミテ、金華山ヲ東洋ノ上ニ一望スベ  
 シ、○仙臺ヨリ東京ニ至ル路程ハ、九十餘里ニシテ、兩路ア  
 リ、岩沼ヨリ分レテ、西路ヲ中街道ト云ヒ、大河原ヲ歷テ、白  
 石驛ニ至ル東路ハ、即濱街道ナリ、又三陸ノ官道ハ、青森港  
 へ至ル九十八里、古川驛ハ官道ノ大邑ニシテ、仙臺ノ北十

里ニアリ、大崎廣稻ノ中央ニ當リテ、四通ノ要路トス、且江  
 合鳴瀨兩河ノ運輸ヲ受クレバ、其繁華ナルヲ石巻ニ次ゲ  
 リ、○石巻ハ人口一萬ニシテ、仙臺ト相距ル十三里、街市ハ  
 北上川ノ兩岸ヲ夾ミテ、東岸ヲ湊ト云フ、此港ハ全ク東洋  
 ニ向フヲ以テ、河口ノ流沙、其深淺ヲ定メズ、故ニ蛇田ヨリ  
 運河ヲ野蒜港ニ通ズル三里、又松嶋灣ニ貫キテ、運漕ノ便  
 利頗、其安全ヲ得ルト云フ、

陸中 十郡

此國ハ閉伊九戸ノ兩郡ヲ除ケバ、四面海ナク、且鹿角郡ハ、  
 大山脈ノ西陰ニアリテ、地勢相隔絶ス、故ニ磐井ヨリ崑手  
 ニ至ル七郡ハ、北上川ヲ中央ニ置キテ、連山其東西ヲ環リ



圍ム○崑鷲山ハ、高ク西北ニ聳エテ、南部富士ノ稱アリ、南  
 昌山其南ニ峙チテ、東根葛丸ノ諸山ト相連リ、湯田大澤鶯  
 宿及鉛湯、臺湯、繫湯等ノ温泉アリ、其山陰ヲ牽石澤内ノ二  
 郷トス、而テ大山脈ノ南ニ赴ク者ハ、御駒岳、馬蛭岳、和賀岳  
 等、相連リテ二郷ノ西ニ亘リ、膽澤岳トナリテ、酢川岳ニ接  
 ス、酢川ハ即栗駒山ナリ、連山ノ際ハ、風江越、白木峠、國見峠  
 ヲ羽後ノ通路トシテ、近來坂路開鑿ノ舉アリ、○姫神山ハ、  
 常ニ御姫岳ト呼ブ、崑鷲山ト東西相對シテ、東方ノ連山ヲ  
 起セリ、藪川山其背ニ立チテ、兜神岳、早池峯、六角牛山等南  
 ニ赴キ、九戸、閉伊ノ正西ニ亘リテ、室根山ニ接ス、山間ニ鐵  
 山頗多シ、○中山峠ハ、陸奥ノ界ニシテ、官道ノ坂路ナリ、東

西兩山脈ノ相合フ處ナレバ、國ノ北境ヲ限レリ、此山ヨリ  
 北ハ、即糠部ノ地ニシテ、水流皆北ニ下ル、山南ノ諸川ハ、共  
 ニ北上川ニ入リテ、南ニ流ル、者ナリ、○開田川ハ、  
 北上川ハ、本嶋第二ノ大河ニシテ、源ヨリ海口ニ至ル八十  
 里、沿岸ノ地、大率平坦ナレバ、水流モ從テ急駿ナラズ、故ニ  
 舟運ヲ通ズルヲ殆六十里、陸前陸中ノ米穀數百萬石、其運  
 輸皆此水路ニ由ラザル者ナシ、其正源ハ中山峠ヨリ出テ  
 、七郡ノ水、相會スル者十餘川アリ、丹藤川ハ、藪川山ニ發  
 シ、松川ハ、崑手山ヨリ出ツ、牽石川ハ、御駒岳ヨリ來リテ、厨  
 川ノ城墟ヲ繞リ、中津川ハ、源ヲ兜神山ニ發シテ、盛岡ノ街  
 市ヲ貫ク、四川共二十餘里ニシテ、東西ヨリ相會ス、豐澤川



和賀川、膽澤川、衣川、磐井川ハ、西ヨリ入リ、裨貫川、猿石川、人首川、沙鐵川、千厩川ハ、東ヨリ注ゲリ、山形縣ノ東ニ至ル。閉伊九戸ノ兩郡ハ、相連リテ、東洋ニ臨ミ、南ハ陸前ノ氣仙ヨリ北ハ陸奥ノ八戸ニ至ル沿海四十里、其南隅ハ尾崎箱崎、龜崎等、並ビ出デ、釜石山田、大槌ノ諸灣ヲ抱ク、釜石港ハ最南ニアリテ、新ニ製鐵場ヲ置ク、其北十五里ヲ宮古港トス、帆懸崎出デ、楸崎ト大灣ヲナス、此兩港ハ共ニ良灣ナレドモ盛岡ト相距ル二十七里、重山中ノ峻坂ナリシガ、近來道路ヲ開鑿シテ運輸ヲ通ゼリ。○閉伊川ハ、兜神山ヨリ來リテ、楸澤ニ注グ、其北ニ小本川、久慈川アリ、端神山及平庭、遠別ノ諸山ハ、數川山ニ連リテ北ニ亘リ、陸奥ノ境ニ

ハ種市岳高ク海岸ニ峙テリ、鹿角ハ、大山脈ノ峽際ナル一郡ニシテ、陸奥羽後ノ中間ニ夾ル、南ハ僅ニ崑鷲山ノ脊ニ接スレドモ、高原十里、又通路ナシ、是ヲ八幡平ト云フ、北隅モ亦大國平ト呼ブ、曠原ニシテ、東ニ奥瀨岳アリ、西ニ炭塚山アリ、其ニ陸奥ニ跨ル、來滿四角ノ諸山ハ、奥瀨岳ノ南ニ列リテ、東境ヲ限リ、尾去澤銅山、小坂銀山ハ、西境ニ並ブ、郡中ノ水相集リテ、西ニ流ル、此峽間ニ數里ノ平地アリテ、花輪、毛馬内ノ諸邑、及大湯、熊澤、湯瀨等ノ温泉アリ。○米代川ハ、來滿山ヨリ出デ、西北ニ環リ、大湯川、毛馬内川ト相合ヒテ、羽後ノ能代川トナル、盛岡ハ人口二萬アリテ、仙臺ト相距ル四十八里、北上川ニ



明治橋ヲ架ケテ、橋下ヨリ舟運ノ利アリ、官道ノ諸邑ハ、花  
卷、水澤一關等、共ニ北上川ノ西岸ニ沿フ者トス、水澤ノ北  
ニ鎮守府ノ舊墟アリ、一關ハ磐井川ニ臨ミテ、其上流ニ五  
串瀧アリ、中尊寺ハ衣川ノ南岸ニアリ、長治中、清衡ガ建立  
セシ古寺ニシテ、金色堂、經堂ハ今尚其舊構ヲ存ス、平泉ハ  
其南ニ接シテ、四衛ノ居館趾及高館、毛越寺等ノ舊跡アリ、

陸奥 四郡

日本嶋ノ北端ニ居テ、南ハ陸中、羽後ニ接ス、東ハ太平洋ニ  
向ヒ、西ハ日本海ニ臨ム、北岸ハ松前海峽ニ臨ミテ、東西二  
十餘里、兩岸相距ル五里ヨリ十里ニ及ブ、海峽ノ中央ヨリ  
海水深ク入リテ、大ナル内海ヲナス、東西十五里、南北十里

其沿回ハ五十里ニ及ブ、是ヲ陸奥海ト云フ、  
八甲田山ハ常ニ八甲山ト呼ブ、八峯並ビ立チテ、本嶋中央  
ノ大山脈ヲ起ス者ナリ、高田ハ幡等ノ群山、其北ニ亘リテ、  
津輕糠部ノ經界ヲナシ、烏帽子岳ニ連リテ、内海ノ岸ニ盡  
ク、此山際ハ兩地ノ通路ナク、海岸僅ニ馬門ノ一路アルノ  
ミ、其東ノ野邊地港ハ、内海ノ南岸ニ臨ム、  
二戸郡三戸郡及北郡ハ、陸中ノ九戸郡ト共ニ糠部ノ地ナ  
リ、中世ニ至リテモ、尚郡界アラザリシト云フ、南ハ中山峠  
ヨリ次第ニ區別シテ、一戸ヨリ七戸ニ至ル二十八里、而テ  
八戸九戸ハ、東洋ニ向ヒテ南ニ亘ル者トス、○一戸ヨリ三  
戸ニ至ル地ハ、鹿角九戸ノ間ニ夾リ、其西境ハ、八甲山ニ接



セル奥瀬山ヨリ、戸來來滿四角安比ノ諸山相連リテ、南隅  
ハ七時雨山、中山峠ノ西ニ立テリ、折爪岳名久井岳ハ東  
境ニ亘リテ、官道ノ浪打峠ハ頗峻險ナル嶺路トス、馬淵川  
ハ源ヲ遠別岳ニ發シテ、西北ニ流レ、嶺下ヲ環リテ福岡三  
戸ヲ過グ、七時雨山ヨリ來ル淨法寺川、及來滿山ニ出ヅル  
熊原川ト相合ヒテ東ニ轉ジ、其流二十五里ニシテ、八戸港  
ニ注グ、三戸ヨリ舟運十里ヲ通ズベシ、八戸ハ人口一萬ニ  
シテ舟泊ヲ鮫湊ト云フ、○五戸七戸ノ地ハ山圍既ニ盡キ  
タレバ、東ハ大洋ヲ望ミ、北ハ内海ノ岸ニ亘レリ、然レ荒蕪  
セル曠原相列リテ、三本木平ト呼ブ處ハ、南北三里、東西八  
里アリ、近來ハ牧牛場ヲ設ケ、或ハ開墾セシ處アリト云フ、

○六戸川ノ源ハ、奥瀬山中ノ十和田沼ニシテ、周回十里、其  
水懸リテ銚子瀧トナリ、東ニ流ル、十二里、戸來岳ヨリ出  
ヅル五戸川ト共ニ東洋ニ入ル、七戸川ハ、八幡岳ニ出デ、  
坪川ヲ合セ、海濱ニ至リテ、倉内沼尾駮沼平沼トナル、諸沼  
相連リテ、姉妹海等ノ稱呼アリ、  
田名部半嶋ハ、東北端ニ横リテ、内海ヲ抱ク、其東北岬ヲ尻  
矢崎トス、箱館港ノ航路ニ當リテ、海霧常ニ深ケレバ、燈臺  
霧鐘ノ建設アリ、此岬ヨリ一條ノ地峽ヲ南ニ通ジテ尾駮  
ニ至ル十里、以テ東洋ト内海トノ間ヲ限レリ、○半嶋ハ周  
回三十里ニシテ、四方共ニ十里ニ及ブ、中央ハ噴火山ニシ  
テ、其高キ者ヲ恐山ト呼ブ、釜伏山ハ其南ニ峙チテ、内海ノ



岸ニ立ツ、田名部川内川ハ、同海岸ニ注ギ、正津川ハ、恐山ノ湖水ニ出デ、大畑港ニ入ル、大間崎ハ、最北端ニシテ、箱館ト相對ス、直徑十里、岬西ニ奥戸、佐井ノ兩港アリテ、岬東ヲ大畑トス、共ニ松前海峽ニ臨ム者ナリ、○田名部ハ、嶋中ノ一邑ニシテ、安渡港ト共ニ内海ノ東北隅ニ臨ム、其西隅ノ九艘泊ハ、津輕ノ平館ト内海ノ門口ヲナシテ、三里ノ海峽ヲ夾ム、

津輕ハ兩羽ノ北端ニ當ル大郡ニシテ、國境ハ高倉朝倉及、泊岳、白神岳等、相並ビテ、東ハ炭塚山ヨリ、西ハ日本海ノ岸ニ盡ク、東隅ニ矢立岬アリ、其嶺下ヲ碓關ト云フ、西海岸ニ大間越アリ、羽後ノ通路ハ、此兩條ノミ、○一郡ノ沿海七十

里、其北岬ヲ龍飛崎ト云フ、渡嶋ノ白神崎ト相對ス、峽間五里、蓋松前海峽ハ、日本海ノ水ノ太平洋ニ出入スル潮路ナレバ、兩岬ノ間ニ三條ノ激流アリ、是ヲ三汐ト呼ベリ、岬東ニ三厩港アリ、港ヨリ東ハ外濱ト總稱ス、即率土濱ニシテ、其間七里、東端ハ平館ナリ、増川岳品岳ハ、海濱ノ上ニ連リテ、南ニ環リ、横岳大岳等、内海ノ西岸ニ亘ルヲ十里、因テ内地ノ東北ヲ圍ム、○内地ハ平坦十餘里ニシテ、西ハ海濱ニ亘レリ、岩木山、其西南ニ聳エテ、津輕富士ト呼ブ、岩木川ハ、泊岳ヨリ出デ、西北ニ流ル、二十五里、弘前ヲ過ギ、平川、淺瀬石川ヲ合セ、行舟十里ヲ通ジテ、十三瀉ニ入ル、○十三瀉ハ、西海濱ノ湖水ナリ、港口直ニ港泊ヲナス、湖南ハ平砂



相連リテ、七里長濱ト稱ス、鯨澤ヨリ西南ハ、大間越ニ巨リ  
テ、斷崖巨巖相列レドモ、其際ニ深浦アリテ、鯨澤ト共ニ舟  
泊ノ利アリト云フ、  
青森港ハ、夏泊崎其東ニ出デ、又一灣ヲナス、港上ハ樹木  
鬱蒼トシテ、入港ノ標準トナレバ、此名アリト云フ、人口一  
萬ニシテ、箱館ト二十八里ノ海路ヲ隔テ、常ニ小汽船ノ  
往復アリ、弘前ハ人口三萬、津輕氏ノ舊居城地ニシテ、青森  
ノ西十里ニアリ、矢立峠ヨリ兩羽ノ官道ヲ通ジテ、秋田ト  
相距ル四十二里、

羽前四郡

和銅元年越後國ニ出羽郡ヲ置ク、今ノ莊内是ナリ、同五年

建テ、國トナシ、陸奥ノ最上置賜ノ二郡ヲ屬ス、奥羽分國  
ノ時ニ羽前國ヲ置クハ、即此地ナリ、四境共ニ深山重嶺相  
圍ミテ、西隅僅ニ日本海ニ臨ム、  
月山ハ國ノ正中ニ立チ、其山脈相連リテ、南ハ朝日岳ヨリ、  
飯豊山ニ連リ、北ハ板敷山、瓶山等、相並ビテ、鳥海山ニ接ス、  
山脈ノ間ニ夾ル平野ハ、分レテ莊内最上、米澤ノ三地ヲナ  
セリ、  
最上川ハ、兩羽中ノ大河ニシテ、日本三急河ノ一ナリ、上流  
ヲ松川ト云フ、源ヲ大日岳ニ發シテ、米澤ヲ過ギ、置賜一郡  
ノ水悉集リテ、環流十八里、左澤ニ至リテ、最上川ト稱ス、東  
ニ轉シテ、須川ト合ヒ、村山郡ノ中央ヲ北ニ流ル、二十餘



里、寒河江川ハ、西ヨリ入り、丹生川、船形川、鮭川ハ、東北ヨリ注ガ、合海ヨリ西ニ環リテ、板敷山ノ麓ヲ穿テ下ル、兩岸相逼リテ壁立數十丈、中間ニ懸ル白絲瀧ハ頗奇觀ナリ、峽間九里ハ往來其ニ舟路ニ依リシガ、近來山路ヲ南岸ニ築キテ、清川新道ト云フ、下流ハ田川、飽海ノ郡界ヲ限リ、赤川ヲ合セテ日本海ニ入ル、源ヨリ六十二里ナレドモ、行舟ハ其半ニ及バズ、北ハ對馬山、南ハ山ニ對ス、莊内ハ三郡ヲ稱アレドモ、出羽郡ハ中世既ニ田川郡ニ合ヒ、飽海郡新ニ羽後國ニ屬セリ、然レ尚兩郡ニ亘リテ莊内ト呼ブ、○月山ハ湯殿羽黒ノ兩山、其左右ニ並ビテ、正東ニ並ブ、金峯山ハ正南ノ中央ニ立チテ、其麓ニ田川ノ温泉アリ、

リ、母狩湯澤ノ諸山、其南ニ列リテ、遂ニ朝日岳ニ接ス、温海岳ハ海岸ニ聳エテ、其南ヲ瀛關ト云フ、莊内ノ南境ナリ、○日本海ノ沿岸ハ四十里、中央以南ハ加茂三瀨ノ諸瀨、大率險崖ニシテ、湯濱温海ニ温泉アリ、加茂港ヨリ北ハ平砂、遠ク亘リテ、酒田港ノ北ヲ吹浦ト云フ、莊内ノ北境ナリ、○内地ハ平坦十餘里、梵字川、其源ヲ湯殿山ニ發シテ、西ニ流レ、朝日岳ノ麓ナル大鳥池ヨリ來ル、櫛引川ト合ヒテ、北流十里、即赤川ニシテ、鶴岡ヨリ酒田ニ七里ノ舟運ヲ通ズ、○鶴岡ハ、金峯ノ麓ニアリテ、人口ニ萬、大山ハ其西ニ里ニシテ、武藤氏ノ舊城趾アリ、酒田モ亦人口ニ萬、最上川ノ海口ニ臨ミテ、飽海郡ニ屬セリ、



最上郡ヲ割キテ村山郡ヲ置キシハ、仁和中ニアリ、其後足利兼頼來リテ此二郡ヲ領シ、因テ最上氏ヲ稱スルヲ二十餘世故ニ總稱シテ最上ト呼ブ、○藏王岳ハ、高ク東境ニ峙ツ、即刈田岳ニシテ、其南麓ヲ楢下峠トス、笹谷山、龍山、翁岳等、其北ニ列リテ、陸羽ノ分界ヲ限ル、西境ハ月山ノ前面ニ葉山高ク聳エ、山麓ニ幸生銀山アリ、虚空藏山ハ、朝日岳ノ東ニ接シテ西南ニ峙テリ、○中央ノ地勢ハ、最上川ノ左右ニ亘リテ平坦ナルヲ十餘里、馬見崎川ハ、山形ノ北ヲ環リテ須川ト合ヒ、白岩川ハ月山ニ出デ、東ニ流ル、即寒河江ナリ、其河岸ヲ莊内ノ通路トス、湯殿山中ニ亘リテ、六十里越ト呼ブ、○山形ハ最上氏ノ舊城ニシテ、人口ニ萬アリ、福

嶋ト相距ル二十四里、又笹谷峠ヲ經テ仙臺ニ至ル十八里、近來關山越ニ新道ヲ築ケリ、兩羽ノ官道ハ、楢下峠ヨリ及位峠ニ至ル二十八里、最上川ノ東ニ沿フ者ニシテ、上山山形、天童、楢岡、尾花澤ノ諸邑アリ、最北ノ新莊ヲ最上郡ノ一邑トス、○上山ノ鶴脛湯藏王岳、高湯ハ、共ニ有名ノ温泉場ニシテ、其他ハ大沼ノ浮嶋及立石寺等ノ奇勝アリ、米澤ハ置賜郡ヲ總稱スル者ナリ、伊達上杉ノ兩氏常ニ米澤城ニ居リテ、此一郡ヲ領セシカバ、遂ニ此稱アリ、○大日岳ハ、東南隅ニ聳エテ、岩代ニ跨ル、即吾妻山ナリ、兩峯ヲ東大巔、西大巔ト云フ、山中ニ姥湯及滑川、五色等ノ温泉アリ、布引瀧ハ、其高六十丈、燕瀧ハ三十丈、共ニ松川ノ源ナリ、岳



北ノ板谷峠ハ、福嶋ノ正路ナレドモ、栗子山道ヲ車馬ノ通路トス、檜原峠赤崩山ハ、西ニ亘ル連山ニシテ、會津ト經界ヲ分ツ、朝日岳ハ、莊内最上ノ兩地ニ亘リテ、飯豊山ト南北相對シ、其ニ越後ニ跨リテ、國境ニ大里峠アリ、四面悉高山相圍メドモ、北方ノ最上ニ接スル處ハ、稍平坦ニシテ、米澤ヨリ山形ニ至ル十二里、車馬常ニ往復ヲ通ゼリ、○米澤モ人口ニ萬アリ、其四近ノ地ハ、平野數里ニ亘リ、土人能ク產業ヲ勤メテ、蠶業紡績ノ業、最盛ナリト云フ、邑北四里ニ赤湯アリ、最上ノ通路ニ當ル、赤湯沼ハ、下流ヲ吉野川ト云フ、羽黒川ハ、板谷峠ニ出テ、鬼面川ハ、檜原峠ヨリ來ル、朝日岳ニ發スル者ヲ野川トシ、飯豊山ニ出ヅル者ヲ白川トス、皆

其ニ松川ニ會セリ、惟西隅ナル荒川ハ、其源ヲ朝日岳ニ發スト、雖氏、横川玉川等ヲ小國ニ合セテ、越後ニ入ル、凡國內ノ水、西ニ流レテ、最上川ニ注ガザル者ハ、此川アルノミ、

羽後八郡

齊明帝ノ時ニ、飽田淳代ノ郡領ヲ定メシヨリ、七十年ヲ經テ、秋田城ヲ築キ、尋テ又雄勝平鹿ノ諸郡及河邊府由利柵等ヲ置ク、其後清原武則モ亦倂因長ヲ以テ、山北ノ地ヲ領セシガ、其子孫相爭ヒテ、金澤城ニ據ル、即後三年ノ役ナリ、此諸郡ヲ今ノ羽後國トナス、  
大深山、木香岳及藥師阿彌陀ノ諸岳ハ、大山脈中ノ群峯ニシテ、陸中ノ御駒岳、馬蛭岳、酢川岳等ト相並ビテ、其南隅ヲ



高松小安ノ諸山トス、鎬岳ハ羽前ニ跨リテ、其西ナル院内  
峠ハ、即及位峠ナリ、山脈西ニ環リテ、東安岳瓶山ニ接ス、鳥  
海山ハ奥羽中ノ大嶽ニシテ、由利飽海ノ郡界ヲナス、山峯  
高ク秀テ、他山ノ遮リ覆フ者ナシ、山脚西ニ亘リテ、海岸  
ニ盡ク、岸上ノ一路ヲ三崎峠トス、○稻村岳ハ、鳥海山ノ西  
北ニ接シ、東北ハ保呂羽ハ潮ノ連山相列リテ、仙北領ノ西  
ヲ圍ム、○大平山ハ國ノ中央ニ立チテ、其東ニ龍峯岩見山  
等相連ル、大佛山ハ、仙北比内ノ經界ヲ限リテ、森吉山ヨリ  
大深山ニ接ス、森吉山陰ニ阿仁銅山アリ、此重山ノ際ニ瀑  
布十餘、其大ナル者ハ、高各五十丈、白絲瀧ハ北ニ落チテ、比  
内ノ大又川トナリ、鮫足瀧ハ南ニ流レテ、仙北ノ玉川ニ注

グ、御物川ハ、最上川ニ次グ、大河ニシテ、其流三十里、院内銀山  
ヨリ出デ、北ニ流レ、玉川ト相合ヒテ、西ニ環ル、此兩川ノ  
流路ハ、雄勝平鹿仙北ノ三郡ナレドモ、是ヲ仙北領ト總稱  
ス、即山北ハ、轉字ニシテ、金澤尚其城墟ヲ存ス、岩崎川横手  
川ハ、東境ノ山際ヨリ出テ、御物川ニ入ル、玉川ハ、鮫瀨川  
田澤沼等ヲ角館ニ合セテ、南流二十七里、合流以下ハ、又戸  
嶋川ヲ納レテ、秋田ヲ過ギ、其海口ヲ土崎港ト云フ、○能代  
川ハ、米代川ノ下流ナリ、比内ノ中央ヲ貫キテ、大館川ハ北  
ヨリ注ギ、阿仁川ハ、南ヨリ合フ、小繫ニ至リテ、七座山加護  
山、其兩岸ヲ夾ム、岸上ノ新路ハ、眺望頗好シ、故ニ東巡ノ時、



新ニ名ヲ君待坂ト賜フ坂西ハ地又平ナリ藤琴川ヲ納レ  
 于能代港ニ入ル源ヨリ二十五里舟運ノ利頗多シ○比内  
 ハ秋田郡ノ東北隅ニシテ鹿角郡ト相接ス山間ノ別郷ヲ  
 ナセバ土人ハ比内郡ヲ私稱セシトアリト云フ津輕ノ通  
 路ハ大館川ニ沿ヒテ矢立峠ニ至ル七里即兩羽ノ官道ナ  
 リ○阿仁川ハ大小兩川アリ大阿仁川ハ大又川ノ下流ニ  
 シテ北ニ流ル三十里小阿仁川ハ龍峯ヨリ出テ河  
 ニ大錠小錠等ノ巨岩アリ相合ヒテ七座山下ニ注グ○御  
 物能代ノ兩川ハ最上川ト并セテ羽州ノ三大河ト稱ス此  
 他ノ諸川ハ共ニ源ヲ鳥海山ニ發スル者ナリ子吉川ハ西  
 北ニ流ル十八里矢嶋本莊ヲ過ギテ古雪港ニ入ル白雪

川關川等ハ共ニ同山ノ北陰ヨリ來ル者ナリ其南陰ニ出  
 テ吹浦ニ注グ者ヲ日向月光ノ兩川トス諸川ノ水源ハ  
 日向白絲七釜檜山等共ニ數十丈ノ瀑布ナリ  
 日本海ノ沿岸ハ酒田港ヨリ北隅ノ岩館ニ至ル五十里平  
 砂遠ク亘リテ男鹿女鹿ノ外又斷崖ナシ土崎ヨリ南ハ本  
 莊龜田等ノ諸邑相列リ鹽越浦ニ象潟アリシガ享和中震  
 災ニ逢ヒテ湖水ノ勝景ヲ失ヘリ○男鹿ハ中央ニ突出ス  
 ル半嶋ニシテ周回二十五里其東面ハ八郎潟ヲ抱キテ岸  
 上ニ寒風山アリ本山ハ西岸ニ峙チテ崖下ニ洞門危嶺等  
 ノ奇勝アリ平澤崎船川浦等其際ニ臨ミテ嶋中ハ又温泉  
 瀑布アリ○女鹿ハ吹浦ト相連リテ三崎峠ノ麓ニ接ス亦



斷崖巨礁並ビ列リテ、嶺上モ嶮坂一里、纔ニ徒行ヲ通ズル  
 ノミ、蓋鳥海山脚ノ斷絶スル處ニテ、其餘勢ノ海中ニ屹立  
 スル者ヲ飛鳥ト云フ、兩羽ノ海上ハ、唯此一嶋トス、○八郎  
 瀉ハ周回十五里ノ湖水ナリ、東西三里、南北七里ニシテ琴  
 湖トモ呼ブ、湖口南ニ向ヒテ、直ニ海ニ注グ、湖水ノ東北ハ  
 曠原相連リテ、能代港ニ亘ル數里、金光寺野ハ南北三里ニ  
 及ベリ、

秋田ハ、人口四萬ニシテ、久保田ト稱ス、天平ノ故城趾アリ、  
 應永中、安東太康季、據リテ秋田氏ヲ稱スルコト五世ナリ  
 ト云フ、太平山其東ニ峙チテ、西北ハ土崎港ト相距ル二里、  
 此港ハ能代ト共ニ其人口一萬ニ及ブ、○兩羽ノ官道ハ、御

物川ニ就キテ、院内ニ至ル三十里、戸嶋大曲、金澤、横手、湯澤  
 ノ諸邑アリ、北ハ八郎瀉ニ沿ヒ、君待坂ヲ超エテ、大館ニ至  
 ルモ亦三十里ナリト云フ、

物産

奥羽ノ産ハ、馬ヲ必要トシテ、軍用ニ供フル、往昔ヨリ今  
 日ニ及ベリ、五戸七戸ノ馬ハ駿良ニシテ、是ヲ五七ト呼ブ、  
 總テ七國ノ産ハ、皆共ニ騎乘ノ用ニ充ツベシ、牛モ亦糠部  
 ヨリ出ス者最多シ、魚類ハ鮭、鱒ヲ東北ノ一名産トス、北上  
 川、小水川、六戸川、岩木川、最上川等、此魚ヲ漁セザル處ナシ、  
 海魚ハ磐城ノ鰹、鯔、及遠嶋以北ノ鮪ヲ輸出ノ盛ナル者ト  
 シ、津輕ノ海參モ亦販賣ノ多キ者トス、雷魚ハ男鹿ノ異産



ニシテ、雲丹ハ牡鹿ノ佳味ナリ、其他ハ鯛、鱒、鮒、鮫及干鰯、干  
鰯等ノ産アリ、○金鐵諸鑛ハ、最富ニテ連山ノ際、殆、礦場ナ  
ラザルハナシ、金ハ栗原比内等ニ採リテ最上川ヨリハ沙  
金ヲ得ベシ、幸生銀山、院内銀山、小坂銀山、半田銀山、阿仁銀  
山、尾去澤銅山等、採出極テ多ク、早池峯室根山ノ脈ハ盛ニ  
岩鐵沙鐵ヲ出セリ、磐城山中ハ、石炭十五坑アリ、岩代陸前  
ハ硫黃ノ産アレドモ、恐山ノ所出ハ、一年殆三十萬貫ニ及  
ブ、石材ハ牧山ノ井内石ヲ最良トシテ、碑碣橋梁ヨリ建築  
用ニ供スルノ頗多シ、陸中ノ猿澤山ハ、硯石、砥石等アリテ、  
陸前ノ雄勝石ハ、硯及石盤ヲ製スベシ、木材ハ仙臺、松、秋田  
杉共ニ有名ノ良材ナリ、磐城ノ檉、會津ノ樅ヨリ、田名部半

嶋ノ檜ヲ最多産ノ者トス、烟草ハ三春登米米澤最上等ニ  
シテ、麻、苧ハ磐井最上米澤ヲ良品トス、最上川ノ沿岸ハ、紅  
花ヲ植エ、崑手山ノ麓ニ紫草ヲ生ゼリ、南部百合、南部早藕  
ハ共ニ糠部ノ野産ニシテ、秋田露ハ其葉ノ大ナルノ雨笠  
ニ代フベシ、養蠶ハ各郡一般ノ産業ニシテ、志津川針道ノ  
生絲、其中ニ冠タリ、蠶卵紙ハ逢隈川ノ沿岸ヨリ米澤ヲ最  
良品トス、織物ハ仙臺平織、秋田畝織、新莊龜綾織、相馬縮織、  
南部紬、二本松紬、川股絹、白石紙布等ニシテ、鹿角ヨリ木綿  
ノ茜染紫染ヲ出セリ、米澤ハ織工頗盛ニシテ、絲織、透綾ヲ  
名産トス、其他ハ博多織、琉球紬等ヲ擬シテ、頗精工ヲ盡シ、  
秋田モ亦ハ丈編ヲ摸造ス、仙臺ハ精巧平ノ外ニ八段掛七



子織羽二重等ノ諸帛アリ、鐵器磁器漆器及蠟燭ハ會津ノ製造最夥多ニシテ、南部鐵瓶、相馬砂燒、莊内繪蠟燭モ亦共ニ有名ノ產物ナリ、津輕ノ殼塗、野代ノ春慶塗ハ漆器中ニ於テ全國悉其良品ヲ賞ス、水澤ノ漁網ハ東海北海ノ海獵大率其用ニ供ス、磐城延紙、白石料紙、氣仙行李、迫邊表ノ諸產ヨリ仙臺ノ埋木、細工鐵浮張等、其二各地ノ製品ニ係ル酒ハ大山岩出山ヲ佳釀トシ、仙臺味噌、仙臺干糲ノ名高キハ、米豆ノ夥多ナルヲ證スベシ、而テ七國ノ米穀ハ其草高ヲ概算スルニ全國七分ノ一二當レリ、土地ノ廣大ニシテ、物產ノ盛大ナルヲ又知ルベキナリ、

改正日本地誌要略卷之三終

明治十一年六月十九日 原版々權免許  
 明治十二年三月廿二日 分版御届  
 明治十五年十二月七日 改正版權免許  
 明治十九年五月三十日 出版納本

原版主  
 兼著述人

東京府平民

大槻修二

府下淺草區北富阪西廿五番地



出版人

大阪府平民

柳原喜兵衛

府下東區北久太郎町四丁目拾五番地



出版人

大阪府平民

三木佐助

府下東區北久寶寺町四丁目拾四番地



出版人

大阪府平民

岡島眞七

府下東區本町四丁目五拾九番地



每冊定價 金廿錢



